

アクセスガイド



九州から	高松市内から	松山市内から
フェリー 2時間40分(別府～八幡浜)	JR特急 3時間	JR特急 35分
フェリー 2時間15分(臼杵～八幡浜)	車 2時間30分	車 1時間
フェリー 70分(佐賀関～三崎)	徳島ICから	空港バス 1時間
広島から	車 3時間(徳島IC～大洲IC)	(松山空港～JR大洲駅)
石崎汽船・瀬戸内海汽船(休日割引有り)	三崎から	松山ICから
スーパーフェリー 1時間17分(広島・呉～松山)	車 1時間(R197)	車 35分(松山IC～大洲IC)
フェリー 2時間40分(広島・呉～八幡浜)	八幡浜から	松山空港から
岡山から	車 12分	車 1時間 ※伊予IC経由
JR特急 3時間30分	車 20分	
車 3時間10分		

※所要時間は、交通状況・運転状況により異なります。

大洲市内の交通案内	
JR	伊予大洲駅 …… TEL.0893-24-2319
タクシー	安全タクシー …… TEL.0893-25-1122
	宇和島ハイヤー …… TEL.0893-24-7734
	大洲タクシー …… TEL.0893-24-3261
	肱南タクシー …… TEL.0893-24-2010
バス	伊予鉄南予バス …… TEL.0893-24-3148
	大洲市内循環バス …… TEL.0893-24-3148
	宇和島バス …… TEL.0893-24-2171
レンタサイクル	二宮自転車店 …… TEL.0893-24-3654
	大洲観光総合案内所 …… TEL.0893-57-6655
	伊予大洲駅観光案内所 …… TEL.0893-57-9161

◆大洲を旅するご案内・お問合せ

大洲観光総合案内所(大洲まちの駅「あさもや」内)
〒795-0012 愛媛県大洲市大洲649番地1
TEL.0893-57-6655 FAX.0893-24-7086

※掲載している情報は2023年10月現在のものです。
予告なく変更される場合がございますので、事前に案内所等へお問い合わせください。



おおず
大洲市観光サイト



<https://jp.visitozu.com/>

ぶらり
町並快遊

愛媛

城下町大洲





観光名所

1 大洲城 3ページ参照

開館／9時～17時(16時30分札止め)
休館／無休
料金／大人550円 小人220円(中学生以下)
TEL.0893-24-1146

2 臥龍山荘 4ページ参照

開館／9時～17時(16時30分札止め)
休館／無休
料金／大人550円 小人220円(中学生以下)
TEL.0893-24-3759

3 盤泉荘 5ページ参照

開館／9時～17時(16時30分札止め)
休館／無休
料金／大人550円 小人220円(中学生以下)
TEL.0893-23-9156

4 おおず赤煉瓦館 4ページ参照

開館／9時～17時
休館／12月29日～31日
料金／無料 ※別館有料
TEL.0893-24-1281

5 ポコペン横丁 7ページ参照

開催日／3月第3日曜日～11月末の毎週日曜日
※但し、第2日曜日は除く。
12月～翌年2月の第3日曜日
開催時間／10時～15時30分
料金／無料

6 思ひ出倉庫 7ページ参照

開館／9時30分～16時30分(16時札止め)
休館／12月29日～31日
料金／大人200円 小人100円(中学生以下)
TEL.0893-57-6655

おおず
大洲市観光サイト



https://jp.visitzu.com/

時代をページをめくりながらぶらぶらと散策してみませんか？
先人達が、今に残した町並の雰囲気がいこころに残ります。

大洲エリアまち歩きマップ

肱川街道紀行 ～歴史まち歩き編～



大洲城

おおずじょう

台所櫓と高欄櫓がL字型に連結する天守は、デザインの美しい千鳥破風、唐破風が多数使われ、小さいながらもその印象は五重天守と変わりません。戦国時代以後の城主を、戸田勝隆、藤堂高虎、脇坂安治、加藤貞泰等が務めています。維新の後、廃藩による城郭廃止令からは免れましたが、傷みがひどく、1888(明治21)年に取り壊されました。しかし、台所櫓、高欄櫓、芋綿櫓、南隅櫓は残され、国重要文化財に指定。現在の天守閣は、かつての城を再建したいという市民の想いから、古写真や天守雛形などの史料を基に、2004(平成16)年に当時のままに復元したものです。

2020(令和2)年には日本初の城泊事業「大洲城キャスルスティ」がスタート。大洲藩鉄砲隊による祝砲や伝統芸能の鑑賞など木造天守で城主気分を味わうことができます。



お殿様公園

おとのさまこうえん

大洲藩主の末裔の住居であった旧加藤家住宅(国登録有形文化財)や三の丸南隅櫓(国指定重要文化財)の建つ一画はお殿様公園と呼ばれています。木造2階建ての旧加藤家住宅は、1925(大正14)年に建築され、NIPPONIA HOTELとして宿泊することができます。



至徳堂

しとくどう

日本陽明学の開祖、中江藤樹の屋敷跡に100石取りの武家屋敷を模して建築された書院です。孔子と藤樹の木像が安置されていて、古井戸「中江の水」は当時を偲ばせます。大洲高校の敷地内にあります。



臥龍院

臥龍山荘

がりゅうさんそう

大洲藩三代藩主加藤泰恒が、龍が臥す姿に蓬莱山が似ていることから「臥龍」と命名。藩政時代は歴代藩主の遊勝地であったと言われています。

現在の山荘は、明治の貿易商河内寅次郎(1853生)が、余生を故郷で過ごしたいという思いから財を投じ、地元大洲の棟梁・大工中野虎雄と千家十職等に思いを託して築かせたとされています。

1898(明治32)年から庭園整備を開始、1900年9月から不老庵を、1903年から臥龍院の建築を開始し、1907年に完成しました。中秋の名月には不老庵の竹網代天井に、臥龍淵の水面に反射する月明かりが射し込むという、他に類を見ない匠の技を施した臥龍山荘は、2016(平成28)年国の重要文化財に指定、2021(令和3)年には庭園が国の名勝に指定されました。



おはなはん通り

7.2m幅の通りが藩政時代のまま現在に至っています。北側に商家、南側は武家屋敷が建ち並び、精蠶業等で栄えた当時の面影を色濃く残しています。



明治の家並み

めいじのいえなみ

明治、大正頃のなまこ壁の土蔵を残した趣のある家並み。昭和天皇即位を記念し、1928(昭和3)年に煉瓦の煙突を基礎に「昭和燈」が建立されました。



不老庵



おおず赤煉瓦館

おおずあかれんがかん

1901(明治34)年に建築。主にイギリス積み of 赤煉瓦壁に、和瓦葺き寄棟造り屋根という和洋折衷の建物は、ギャラリーや休憩所として利用されています。



肱川街道紀行 ～風景紀行編～



盤泉荘 ばんせんそう

フィリピンのマニラで貿易会社を経営し、大きな富を成した松井國五郎氏によって1926(大正15)年、故郷大洲に建てられた別荘です。高台の急斜面にせり出すように建つ木造3階の建物で、窓からは、肱川や富士山など典雅な自然景観が眺望できます。フィリピンで貿易業を営んでいた施主らしく、建物には東南アジアで選り抜かれた南洋材が使用されています。給水に岩盤から引き込んだ泉を利用して、大阪の俳人西本一都により「盤泉荘」と名付けられました。

五郎河川敷 ごろうかせんじき

毎年3月中旬になると絨毯を広げたように、辺り一面が菜の花の黄色で染まります。映画のロケ地にも使われ、人気の撮影スポットとして知られています。

稲荷山公園 いなりやまこうえん

神南山北側の中腹、樹齢約200年の老楓など約3千本のもみじがある公園です。普段は落ち着いた公園として市民に愛されていますが、紅葉の時期には多くの観光客で賑わいます。

昔から紅葉の名所で知られ、時の藩主が参勤交代の折り、京都・高雄より持ち帰って境内

に植えたといわれています。

真っ赤な楓が燃えるような美しさを魅せる紅葉の見頃は11月中旬～11月下旬で、見事な自然を存分に満喫できます。毎年11月にもみじまつりが開催され、期間中は露店などが立ち並びます。



南洋材の廊下



客人をもてなす大広間



如法寺 にょほうじ

大洲藩二代藩主加藤泰興が盤珪永琢を招いて再興した禅寺。播磨(姫路)龍門寺、江戸(東京)光林寺とともに盤珪の三大道場に数えられる、風情のある寺院です。



少彦名神社 すくなひこなじんじや

少彦名命は、穀霊・酒造りの神、医薬の神、温泉の神として信仰され、伝統やゆかりが多く残されています。参籠殿は2014年版「文化遺産ウォッチ」に選定されました。



富士山公園 とみすやまこうえん

大洲盆地の中央に位置し、その姿が富士山に似ていることから「富士山」と名付けられたと言われます。標高約320mの頂上に立つと、大洲盆地と蛇行する肱川を一望できます。



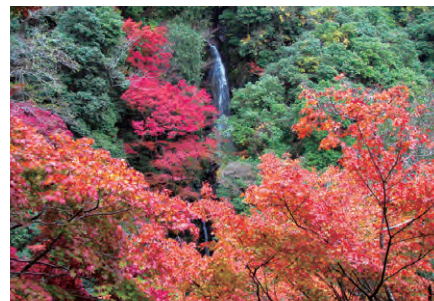
フラワーパークおおず

四季折々に花の競演を楽しむことができます。4月上旬のチューリップは見事で、市民の憩いの場として親しまれています。



櫛生菖蒲園 くしゅうしょうぶえん

約1万本の菖蒲が咲き、毎年6月上旬開催の「櫛生しょうぶ祭り」では、新鮮な魚やサザエのツボ焼き等の販売が人気です。見頃は5月下旬～6月中旬です。



白滝公園 しらたきこうえん

戦国時代、敵に追われた瑠璃姫が滝壺に身を投げたという伝説にちなみ、紅葉真っ盛りの毎年11月23日に「るり姫まつり」が行われます。四季折々の景観が楽しめる公園です。



臥龍1號



大洲の うかい ー日本三大鵜飼ー

篝火をたいた鵜舟が、5羽の鵜を伴って暗闇の河畔に現れ、その見事な鵜網捌きで観客を魅了する幻想的な鵜飼いは、肱川の恵みを食材にした郷土料理を食べながら、大洲ならではのひとときを過ごすことができます。平成29年から“新プレミアム船「臥龍1号」”がデビューし、特別なおもてなしを演出する屋形船に乗ることができます。開催期間／6月1日～9月20日



ひじかわ遊覧 ひじかわゆうらん

自然の風と水しぶきが演出する昼遊覧。ゆったりとした気分で、食事をしながら風情満点の河畔の景色を満喫できます。



お舟めぐり おふねめぐり

鉄道や道路が整備される前の肱川では、渡し舟が交通の主役であった。そのような川の風景が失われつつある今、定期運行船を走らせることでありし日の風景を再現したのが「お舟めぐり」。爽やかな川風を感じながら、観光名所を船でめぐることができます。春から秋にかけて開催しています。



カヌー

春から秋にかけて、肱川でのアクティビティが人気です。初心者でも楽しむことができるインストラクター付きの「ホリデーイン・カヌー&サップ」は、大洲観光総合案内所で申し込むことができます。



ポコペン横丁 ぽこぺんよこちょう

ページマや竹馬、フラフープなど昭和30年代の遊びが楽しめます。「思ひ出倉庫」では昭和の風景が再現されており、一歩足を踏み入れると、懐かしい思い出にタイムスリップできます。



お成り おなり

江戸時代の参勤交代の様子を再現。市内を練り歩く「お成り」が行われます。江戸町民が感銘したと伝えられる、一条乱れぬ歩調の美しさを堪能できます。11月2日開催。



いもたき

大洲の肥沃な土地で育った甘くて美味しい里芋と、鶏肉、油揚げ、こんにやくなどを鍋で煮込む素朴な伝統料理。秋の風物詩として9月上旬～10月中旬に肱川の河原で行われています。

エリア情報

長 ながはま 浜



肱川あらしと長浜大橋（赤橋） ひじかわあらしと ながはまおおはし（あかはし）

ギリッと身が引き締まるような冬の朝、世界でも珍しい自然現象が見られます。放射冷却で大洲盆地にたまった霧が、肱川をつたって瀬戸内海に勢いよく放出される現象で「肱川あらし」と呼ばれます。河口の長浜大橋（通称・赤橋）付近の風速は10メートルを超えます。昔は川風を動き利用した帆掛け船が肱川を行き来していました。長浜大橋は、帆が橋に当たらないよう橋を上げ下げができ、国内最古の道路可動橋として国の重要文化財に指定されています。



富屋金兵衛邸 とみやきんべえてい

坂本龍馬は肱川を船で下り、江湖の港近くの富屋金兵衛邸に宿泊した後、長州を目指しました。現在、「坂本龍馬宿泊の地」の石碑が建ち、実際に宿泊することができます。



金山出石寺 きんざんしゅっせきじ

空海修行の地とされる四国別格二十霊場の1つで、数多くの信者が参詣する寺院。標高約820mの瀬戸内海国立公園に属する名勝地で、山頂からは四国連山を一望できます。



末永家住宅 すえながけいじゅうたく

明治中期、回漕業で栄えた豪商・末永家の旧邸宅です。格子付窓、なまこ壁等を施した商人らしい旧主屋と、接客用で洋風装飾も見られる百帖座敷があります（国登録有形文化財）。



長高水族館 ながこうすいぞくかん

大洲市長浜保健センターにある、高校生手づくりの水族館。150種2千匹以上を展示し、「カクレマノミ」等の研究も行っています。毎月第3土曜日11:00～15:00に開館しています。（完全予約制）



瑞龍寺（沖浦観音） ずいりょうじ（おきうらかんのん）

国指定重要文化財「木造十一面観音立像」が安置されており、毎年決まった日に一般公開されます。桜の名所としても有名で、春先には寺院を囲うように咲き乱れます。

エリア情報

肱川

ひじかわ



鹿野川温泉・鹿野川荘

かのわおんせん
・かのがわそう

豊かな自然が残る鹿野川湖畔を眼下に見下ろす温泉、宿泊、レストラン施設です。一面ガラス張りの開放的な浴室からは、四季を通して美しい景観を満喫することができます。2018年10月には露天風呂が完成、深さが異なる3種の寝湯を楽しむことができます。



小藪温泉

おやぶおんせん

小藪温泉は、肱川の支流である小藪川の渓谷沿いに所在する湯治場(とうじば)温泉です。建物は、1922(大正11)年ごろの建築とされ、木造入母屋造の三層楼閣風の温泉旅館で、現役の旅館建築として貴重であり、国の有形文化財に登録されています。



風の博物館・歌麿館

かぜのはくぶかん
・うたまろかん

丸山公園内には、風について楽しく学ぶことのできる「風の博物館」と「歌麿館」があります。「歌麿館」では、江戸の浮世絵師・喜多川歌麿の版木2枚が保存されています。



丸山公園

まるやまこうえん

約3千本のしゃくなげが咲き誇り、周囲は甘い香りに包まれます。「しゃくなげ谷」とも呼ばれていますが、八重桜やツツジ、やまぶき等もあり、心和むスポットとして親しまれています。



道の駅

清流の里ひじかわ

せiryūのさと
ひじかわ

肱川沿いにある「道の駅」。産地直送の野菜・果物、お惣菜・お弁当を販売する農産物販売所、お土産や特産品を販売する物産品販売所などもあります。

エリア情報

河辺

かわべ



わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道

わらじであるこうさかもと
りょうまだっばんのみち

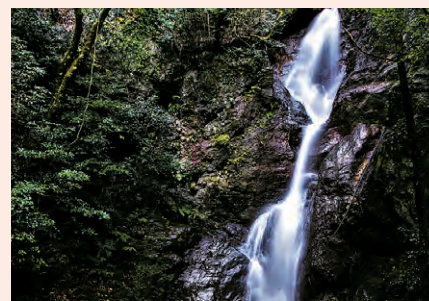
坂本龍馬が脱藩する際に駆け抜けたという、河辺の泉ヶ峠までの約15kmを「龍馬脱藩の道」と呼んでいます。毎年9月、龍馬の足跡を辿り、山道を踏破するイベント「わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道」が開催され、全国から大勢の龍馬ファンが訪れます。当時の龍馬に思いを馳せながら森林浴を楽しみ、自然いっぱいの山道を歩きます。



御幸の橋

みゆきのはし

1886(明治19)年に完成したと伝えられている屋根付き橋です。杉皮葺きの屋根に釘を一切使用していない橋は、多くのカメラマンを惹き付ける独特の風格があります。この他にも日本の原風景を思わせる河辺には、「浪漫八橋」と名付けられた屋根付き橋が8ヶ所点在しています。この橋は、その中でも最も古い橋と言われています。



三杯谷の滝

さんぱいだにのたき

滝を間近で見られるように「龍神橋」が架かっており、ここから眺める滝はまさに絶景です。「龍馬脱藩の道」ルート沿いにあり、春・夏は深緑、秋は紅葉が非常に美しい名所です。



泉ヶ峠

いずみがとうげ

坂本龍馬が土佐を脱藩した際に一夜を明かした峠です。翌日、宿間の小田川(亀の甲)から長浜へ向い、江湖港から長州を目指したと言われており、感慨深いものを感じさせる場所です。



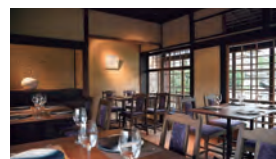
用の山の桜

ようのやまのさくら

根回り約5.4m、目通り約4.5m、樹高約10mのウバヒガン(エドヒガン)の古木で、地元では「御所桜」とも呼ばれています。樹齢約400年の老木ですが、淡いピンクの美しい花をつけます。



レストランルアン



NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町の食事は、レストラン「ルアン」で。
「ルアン」では瀬戸内海の海の幸、自然豊かな山々の幸、そこから流れる清らかな脇川の川の幸。恵まれた自然地形から生み出される数々の愛媛、大洲の美食。そんな数々の食の宝にフレンチの技法で魅力を引き出し、和でも洋でもないフュージョン料理として仕上げています。その季節の「一番美味しい」をご提供するため、夕食は3か月に一度メニューを変えてご用意しています。

大洲城下町の町並みは、近年建物の取り壊し、更地化が進んでいます。地方の歴史的資源の保全は、その維持が困難で全国的な課題となっており、貴重な日本の財産が失われていく危機にあります。

一方、地方の歴史的資源は、その価値が見直され、特にインバウンドなど外国人旅行者には、その地域文化を象徴する景色として評価が高まりつつあります。大洲市では、その景色や風土を「歴史的風致」とし、その保全と活用に取り組んでいます。

特に個人が所有する歴史的建造物を保全していくためには、将来にわたって維持費をまかなう持続的な収益システムを必要とします。そこで、地域住民をはじめ、行政や金融機関、事業者などが連携をして持続的な地域経営システム「歴史的資源を活用した観光まちづくり」を推進しています。

この事業により誕生したのが「NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町」です。大洲城下町に残る歴史的建造物をリノベーションし、ホテルとしての新たな価値を生み出しました。建物は、単に改修するのではなく、できるだけ歴史を感じる古い部分を残す仕様にしています。文化財特別プランでは、市登録有形文化財である旧加藤家住宅での宿泊、敷地内に建つ重要文化財の三の丸南隅櫓でのディナー等を体験できます。

この取り組みが、世界の持続可能な観光地2022年TOP100に選ばれ、国際認証機関の非営利団体グリーン・デスティネーションズが表彰する「The Green Destinations Story Awards ITB Berlin(ザ グリーン デスティネーションズ ストーリー アワード ITB ベルリン)」の「Culture&Tradition(文化・伝統保全)」部門にて世界1位を受賞しました。さらに、世界の持続可能な観光地2023年TOP100に2年連続で選出されました。



■ ホテルフロント 〒795-0012 愛媛県大洲市大洲378
■ レストランルアン 〒795-0012 愛媛県大洲市大洲888
TEL: 0120-210-289 VMG総合窓口(11:00~20:00)
URL: <https://www.ozucastle.com>

大洲に泊まろう!

※ 順不同 ※ 宿泊料金等についてはお問い合わせください。

◆ 料苑たる井



TEL.0893-24-4585
大洲市若宮465-1

◆ 大洲家族旅行村



TEL.0893-23-2384
大洲市菅田町大竹乙938-1

◆ うめたこ山の宿



TEL.0893-25-0826
大洲市徳森1533-2

◆ 綿六旅館



TEL.0893-26-0305
大洲市八多喜甲101

◆ 松楽旅館



TEL.0893-24-4143
大洲市大洲727-2

◆ ホテルオータ



TEL.0893-24-3533
大洲市田口甲36-4

◆ スーパーホテル愛媛大洲インター



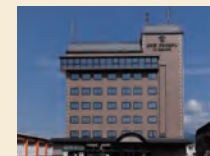
TEL.0893-37-9000
大洲市東大洲1487

◆ ビジネスホテルやかた



TEL.0893-23-0567
大洲市中村229-10

◆ オオズプラザホテル



TEL.0893-25-1100
大洲市東大洲1341

◆ ホテルにし川



TEL.0893-24-4046
大洲市田口甲392-6

◆ ときわ旅館



TEL.0893-24-3634
大洲市中村629

◆ ふるさと旅館



TEL.0893-25-0928
大洲市新谷乙560-1

◆ はたご屋霧中



E-mail: hostel.muchuu1111@gmail.com
大洲市大洲146

◆ まろや四季



TEL.0893-57-9375
大洲市大洲152-1

◆ 民宿漁亭



TEL.0893-52-1471
大洲市長浜甲623

◆ 富屋金兵衛邸



TEL.0893-52-1061
大洲市長浜甲287

◆ 小藪温泉



TEL.0893-34-2007
大洲市脇川町宇和川1433-1

◆ 鹿鳴園



TEL.0893-34-2333
大洲市脇川町予子林94

◆ 鹿野川荘



TEL.0893-34-2000
大洲市脇川町宇和川588-1

◆ あまごの里



TEL.0893-39-2915
大洲市河辺町北平4293

◆ 河辺ふるさとの宿



TEL.0893-39-2211
大洲市河辺町三嶋134

◆ オ谷屋



TEL.0893-39-2211
大洲市河辺町三嶋1912

◆ いわな荘



TEL.0893-39-2254
大洲市河辺町北平2455

◆ 城下の宿 燈 TOMOSHIBI



TEL.080-3166-1698
大洲市大洲935-8



大洲市広域マップ

大洲は地区によって楽しみ方も様々。里山に、城下町に、港町に。大洲と共に育まれた自然と歴史を感じてください。